

(8) 種類ごとの記述





# オニクラマゴケ

イワヒバ科

*Selaginella doederleinii* Hieron.

石川県カテゴリ 絶滅

環境省カテゴリ 該当なし

- **選定理由** 絶滅して久しく、その後、新産地の情報がない。(現況：RE)
- **形態** 茎は斜状に分岐、葉は背葉と腹葉の2形があり、各2列に並び葉は楕円形ないし長卵形。主茎は斜上し、太い担根体を多数出す。胞子のうは小枝に頂生する。
- **国内分布** 本州、九州
- **県内分布** 過去に口能登区に分布。
- **生態など** 常緑性の地表植物で、茎は地上をはい側定を出し、分岐して広がる。繁殖は茎と胞子による。
- **生育環境** 低山の樹林下の陰湿な場所。
- **危険要因** 不明



(米山競一)

小野ふみ系

# ヤシャゼンマイ

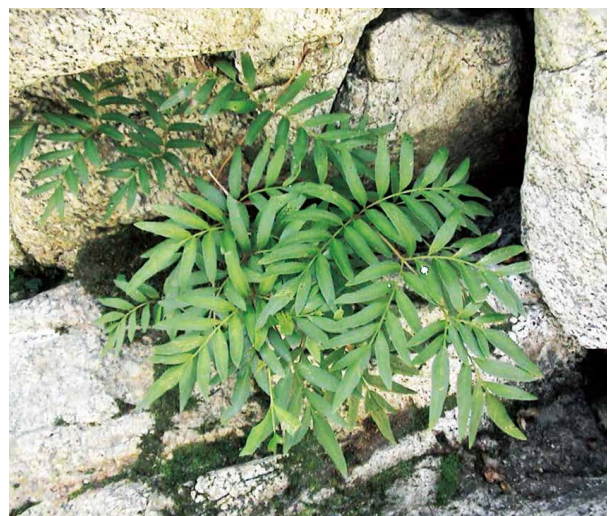
ゼンマイ科

*Osmunda lancea* Thunb.

石川県カテゴリ 絶滅

環境省カテゴリ 該当なし

- **選定理由** 絶滅して久しく、その後、新産地の情報がない。(現況：RE)
- **形態** 葉長はゼンマイより小型で小羽片の幅が狭い。
- **国内分布** 北海道、本州、四国、九州(屋久島以北)
- **県内分布** 過去に口能登区に分布。
- **生態など** 夏緑性の着生ないし半地中植物、胞子により繁殖し、胞子は栄養葉開葉前にほぼ成熟する。
- **生育環境** 溪流の流水に洗われるような場所の岩上、岩隙。
- **危険要因** 不明
- **特記事項** 自生か否か疑問である。



(米山競一)

白井伸和

# クラガリシダ

ウラボシ科

*Lepisorus miyoshianus* (Makino) Fraser-Jenk. et Subh. Chandra

石川県カテゴリー 絶滅

環境省カテゴリー 絶滅危惧 I B類

- **選定理由** 絶滅して久しく、その後、新産地の情報がない。  
(現況：RE)
- **形態** 根茎短く、葉はひも状の単葉。
- **国内分布** 本州、四国、九州
- **県内分布** 過去に口能登区に分布。
- **生態など** 常緑性の着生植物、樹上、岩上に密生して下垂、繁殖は孢子による。
- **生育環境** 深山の樹林中の樹幹や岩上。
- **危険要因** その他（樹木枯損）

(米山競一)



白井伸和

# ムサシモ

トチカガミ科

*Najas ancistrocarpa* A. Braun ex Magnus

石川県カテゴリー 絶滅

環境省カテゴリー 絶滅危惧 I A類

- **選定理由** 極めて稀産の種類であるが、長期にわたり、情報が得られなくなった。(現況：RE)
- **分布** 中能登区で従前採集された標本がある。今回も、かつての産地として記録されている池が調査されたが、不明であった。
- **危険要因** 池沼開発、水質汚濁、農薬汚染、産地局限
- **特記事項** 絶滅した可能性が高い。

(古池 博)



ISKW 小牧 旌



# オオアカバナ

アカバナ科

*Epilobium hirsutum* L.

石川県カテゴリ 絶滅

環境省カテゴリ 絶滅危惧Ⅱ類

- **選定理由** もともと県内における生育地がごく限られ、個体数も少ない。(現況：RE)
- **形態** アカバナの仲間では長大で茎は高さ1m前後にもなり、茎や葉に開出する長毛と腺毛を混生する。その他、柱頭が4裂するのは、エゾアカバナ、ススヤアカバナと同じであるが、花が前2種より大きいなどで他と区別できる。
- **国内分布** 本州(福島県、佐渡などにまれに産する。)
- **県内分布** 1950年に押水町宝達山で採集された後、現在まで確認されていない。絶滅したと思われる。
- **生態など** 多年生草本、花期6~8月。
- **生育環境** 湿草原、川岸や谷間の湿地。
- **危険要因** 産地局限



白井伸和

(濱野一郎)

# サクラソウ

サクラソウ科

*Primula sieboldii* E.Morren

石川県カテゴリ 絶滅

環境省カテゴリ 準絶滅危惧

- **選定理由** 「我が国における保護上重要な植物種の現状」(1989)に、石川県に分布することが記載されているが、現在、確認できていない。(現況：RE)
- **形態** 葉は長卵形で長さ4~10cm、幅3~6cm、先は鈍く基部は浅い心形。表面に多少のしわがある。4~5月、15~40cmの花茎を伸ばし、先端に7~20個の花を散形につける。
- **国内分布** 北海道南部、本州、九州
- **危険要因** 不明



米山競一

(本多郁夫)

# キバナシャクナゲ

ツツジ科

*Rhododendron aureum* Georgi

石川県カテゴリー 絶滅

環境省カテゴリー 該当なし

■**選定理由** 1931年（昭和6年）に白山で採集された標本が金沢大学薬学部在所蔵されていたが、以後、個体群は再発見されていない。（現況：RE）

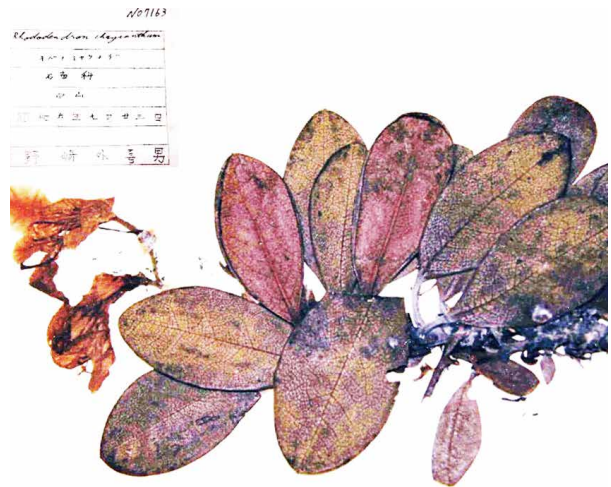
■**形態** 葉は革質、葉身は楕円形、長さ3～7cm、幅1.5～3cm、先は鈍いか円く、基部はくさび形、両面とも無毛。花冠は淡黄色。

■**国内分布** 北海道、本州中北部

■**県内分布** かつて白山で採集された記録があるが、以後見つかっていない。

■**危険要因** 園芸採取、産地局限

（本多郁夫）



金沢大学薬学部標本

# ヒシモドキ

オオバコ科

*Trapella sinensis* Oliv.

石川県カテゴリー 絶滅

環境省カテゴリー 絶滅危惧 I B類

■**選定理由** 「我が国における保護上重要な植物種の現状」（1989）に、石川県に分布することが記録されているが、近年情報が得られていない。（現況：RE）

■**形態** 茎は細長く伸びて水中を漂い、節から根と葉を出す。水中葉は細く披針形。水上葉は3角状円形でヒシの葉に似る。葉腋より2cmほどの花柄を伸ばし、淡紅色の花を水上に出す。

■**国内分布** 本州、九州

■**危険要因** 不明

（本多郁夫）

# ムシャリンドウ

シソ科

*Dracocephalum argunense* Fisch. ex Link

石川県カテゴリー 絶滅

環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

■**選定理由** 1936年以降、確実な生育情報がない。  
(現況：RE)

■**形態** 茎は高さ15～50cm。葉は広線形、長さ2～6cm。花は青紫色で茎頂に短い穂を作る。

■**国内分布** 北海道、本州中部以北

■**危険要因** 不明

(本多郁夫)



濱野一郎

# ヒメミミカキグサ

タヌキモ科

*Utricularia minutissima* Vahl

石川県カテゴリー 絶滅

環境省カテゴリー 絶滅危惧ⅠB類

■**選定理由** かつて金沢市キゴ山の湿地に産したといわれるが、今は湿地とともに存在しない。(現況：RE)

■**形態** 地下部に疎らに捕虫囊をつける、地上葉は線形。花軸は高さ1～3cm、花は1～3個ついて、淡紅紫色で長さ2～3mm。距は前へ突き出す。

■**国内分布** 本州（東海地方、三重県）

■**生態など** 食虫植物。花期は8～10月。

■**生育環境** 湿地

(本多郁夫)

